

毎月1日・15日発行

申告をお忘れなく 固定資産税 2面  
 平成25年度事務事業評価 3面  
 国民健康保険事業特別会計の決算状況 4面  
 平成26年度臨時職員募集 5面  
 有害物分別徹底のお願い 6面  
 稲城なしのすけ4コマまんが 7面  
 胃がん検診 8面



ホームページ <http://www.city.inagi.tokyo.jp/>  
 公式ツイッター [http://twitter.com/inagi\\_city](http://twitter.com/inagi_city)  
 ◀メール配信サービス(登録される方は、左のQRコードから、または「inagicity@emp.ikkr.jp」に空メールを送信してください)

市役所(代表) ☎042-378-2111  
 平尾出張所 ☎042-331-6346  
 若葉台出張所 ☎042-350-6321  
 開庁時間 午前8時30分~午後5時

### 人口と世帯数

平成26年1月1日現在 (前月比)	
人口	86,169人 (59人減)
男	43,626人 (25人減)
女	42,543人 (34人減)
世帯数	36,755世帯 (28世帯減)

※人口及び世帯数は、住民基本台帳によるものです。

毎月15日号2面に「市長コラム」を掲載しています。

表1 非常時の持ち出し品チェックリスト

チェック項目
<input checked="" type="checkbox"/> 飲料水(1人1日3リットル)
<input type="checkbox"/> 非常食品(3日以上が目安)
<input type="checkbox"/> 救急医療薬品類(常備薬など)
<input type="checkbox"/> 携帯ラジオ(予備の電池も用意)
<input type="checkbox"/> 懐中電灯(予備の電池も用意)
<input type="checkbox"/> 現金・貴重品
<input type="checkbox"/> 衣類
<input type="checkbox"/> ウエットティッシュ・トイレトペーパー
<input type="checkbox"/> タオル(大・小)

表2 家具類の転倒・落下防止チェックリスト

チェック項目
<input type="checkbox"/> 大きな家具は、器具を使って壁や天井に固定している。
<input type="checkbox"/> 器具を取り付けている壁や天井には、十分な強度がある。
<input type="checkbox"/> 二段重ねの家具は、上下を連結している。
<input type="checkbox"/> ガラスにはフィルムを貼るなど、飛散防止をしている。
<input type="checkbox"/> 収納物が飛び出さないよう、戸棚などの扉に開放防止器具を付けている。
<input type="checkbox"/> 万一、家具が転倒しても、避難路をふさがない置き方をしている。
<input type="checkbox"/> テレビを壁またはテレビ台に固定し、テレビ台も固定している。

### 家具類の転倒防止対策

近年発生した大きな地震で、けがをした方の原因は、家具類の転倒・落下によるものが30~50%と大きな割合を占めています。

### 災害時にはペットも被災します

災害時のペットの避難は最も困難な状況に陥ります。

### 住宅や事業所の耐震補強

阪神・淡路大震災では、死者の約8割が、家屋などの倒壊による圧死でした。

### 帰宅困難者について

地震により交通機関が運行停止になった場合、多数の帰宅困難者が発生が予想されています。

### ガスメーターの復帰方法

地震でガスが止まったら、ガスメーターの復帰方法を覚えておきましょう。

図1 家具類の転倒・落下対策の例

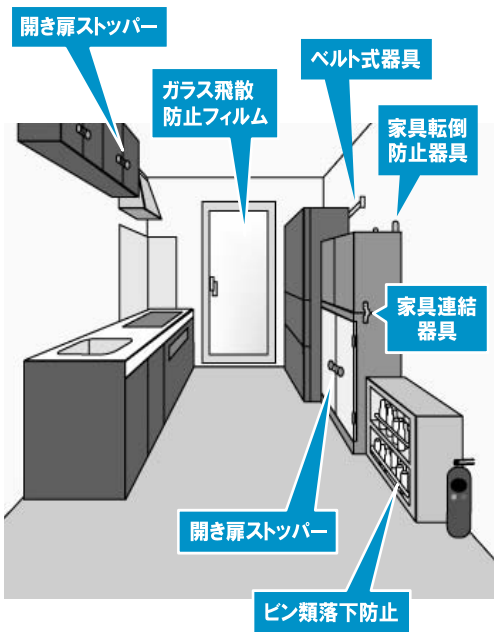
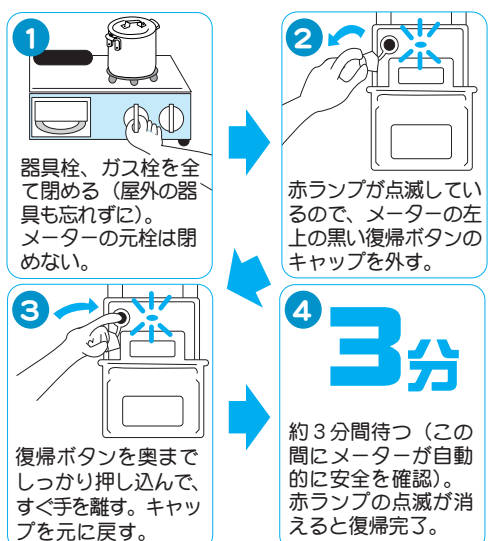
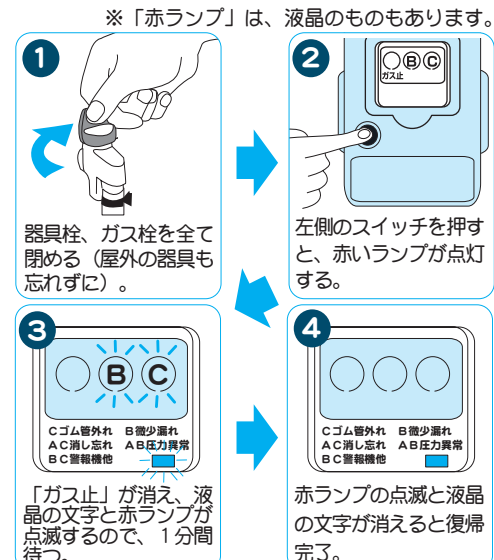


図2 ガスメーターの復帰方法 東京ガスの場合(一例)



LPガスの場合(一例)



※ガス会社によってメーターの種類が違いますので、ご確認ください。

### 家庭での日頃からの備え

家庭では、普段から非常時の持ち出し品を準備しておきましょう(表1参照)。また、万一の時に慌てないために、家族で、避難所や避難経路などについて、事前に話し合っておきましょう。

### 地域での日頃からの備え

地震が起きた場合、全ての現場に救急車や消防車がすぐに駆け付けることは困難です。阪神・淡路大震災では、倒壊家屋などから救出された方の7/8割は家族や近隣の方に助け出されました。

### 地震 その時 10のポイント

- グラツときたら身の安全
- 落ちついて 火の元確認 初期消火
- あわてた行動 けがのもと
- 窓や戸を開け 出口を確保
- 落下物 あわてて外に飛び出さない
- 門や扉には 近寄らない
- 正しい情報 確かな行動
- 確かめ合おう わが家の安全 隣りの安否
- 協力し合って救出・救護
- 避難の前に安全確認 電気・ガス

### 災害発生時の安全確認

地震発生時は、電話やメールなどがつながりにくくなります。日頃から、家族などの安否を確認する方法を話し合っておきましょう。

### NTT災害用伝言ダイヤル「171」(音声)

171番にダイヤルして、安否情報の登録や確認をすることができます。携帯電話からも利用できます。

### ガスメーターの復帰方法

地震でガスが止まったら、ガスメーターの復帰方法を覚えておきましょう。

## いざという時のために 家庭や職場で地震への備えを!

### 1月15日から21日は防災とボランティア週間

#### 問 稲城消防署防災課防災係

東京都が平成24年に公表した多摩直下を震源とするマグニチュード7.3の地震が発生した場合の被害想定では、市内の死者は約1千人、建物の全壊は約630棟になります。地震による被害を最小限に食い止めるには、自分(自分の命は自分で守る)、共助(自分たちのまちは自分たちで守る)が必要です。市民の皆さんと市をはじめとした公助の役割を果たす防災機関が、それぞれの責務と役割を明らかにして、連携することも重要です。皆さんも「防災とボランティア週間」の機会に、家庭や職場で震災対策について再確認しましょう。

災害対策本部が指定するペトトと同行避難が可能な避難所にご案内します。市で備蓄しているケージでは避難できないペットの全てに対応できないため、飼い主の皆さんには日頃から次のことを参考に災害時の備えをお願いします。

○飼い主の方自身でケージと食料の備えをしておきましょう。

○避難所では、飼い主不明のペットは受け入れることができません。犬の場合、必ず登録と狂犬病予防接種をしましょう。飼い主の連絡先を書いた迷子札やマイクロチップを装着するのも有効です。

○避難所での病気の伝染予防も必要です。犬以外のペットも予防接種があるものは実施してください。避難する際に、狂犬病予防注射記録などが記載された「動物同行避難健康手帳」をすぐに持ち出せ